

## 令和4年度「秋の本宮山で身近な生き物を探そう！」

**日 時** 令和4年10月1日（土） 午前10時00分から

**行 程** 砥鹿神社奥宮駐車場 集合 → 砥鹿神社奥宮社叢 → スケート場跡地 → 山頂  
→ 砥鹿神社奥宮駐車場 解散

### 当日の様子



今回の「秋の本宮山で身近な生き物を探そう！」は6月4日開催の観察会に続いて、秋を迎えた本宮山の山頂周辺で開催されました。

当日は11人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸さんと本宮山に生息する動物や植物などを観察しました。前回と同じく集合場所となった砥鹿神社奥宮駐車場を出発すると、砥鹿神社奥宮方面へ向かって歩きました。

砥鹿神社奥宮の大鳥居をくぐった先には、6月後半から7月に咲くオオルリソウが1つだけ時季外れの花をつけていました。

エンシュウハグマは開花時期を迎えていましたが、今年の9月は気温が高めだったようで、花が少しずつ咲き始めたところでした。エンシュウハグマは3つの花が集まって1つの花に見えることや、花びらをよく観察するとねじれていることを天野先生が教えてくれました。

初夏にモリアオガエルとアカハライモリを観察した池のある広場（スケート場跡地）では、多くのトンボが飛び交っていました。池の近くにはヒメアカネとマユタテアカネの2種類のトンボがいて、オス・メスの体の色の違いや交尾や産卵の様子などを観察することができました。



↑ ツルアリドオシの子房を観察



↑ 一つだけ咲いていたオオルリソウの花を観察



↑ヒヨドリバナ



↑スズカアザミとアキアカネ



↑エンシュウハグマ



↑初夏のエンシュウハグマ（令和4年6月4日）

### 観察した主な植物等

オオルリソウ、エンシュウハグマ、キンモクセイ、クサギ、スギ、スギゴケ、スズカアザミ、ススキ、スルガテンナンショウ、チカラシバ、ツルアリドオシ、テンニンソウ、ナンバンギセル、ヒノキ、ヒヨドリバナ、マツカゼソウ、マムシグサ 他

### 観察した主な動物

アキアカネ、アサギマダラ、ウスバキトンボ、ウラナミシジミ、エンマコオロギ、オオセンチコガネ、ツマグロヒョウモン、ヒメアカネ、ホウジャク、マダラシジミ、マユタテアカネ、ヤマカガシ、シカのふん、タヌキのふん、ノウサギのふん 他

### 参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・普段気にしないような身近な場所にも知らない世界が広がっていることを実感しました。
- ・普段の生活では見られない自然を知ることができていい経験になりました。
- ・初めて参加しましたが、1人では行かない、気付かないことを教えていただけて勉強になりました。また1人や家族で来たときに、気になる点を見てみたいと思います。

などのご意見をいただきました。